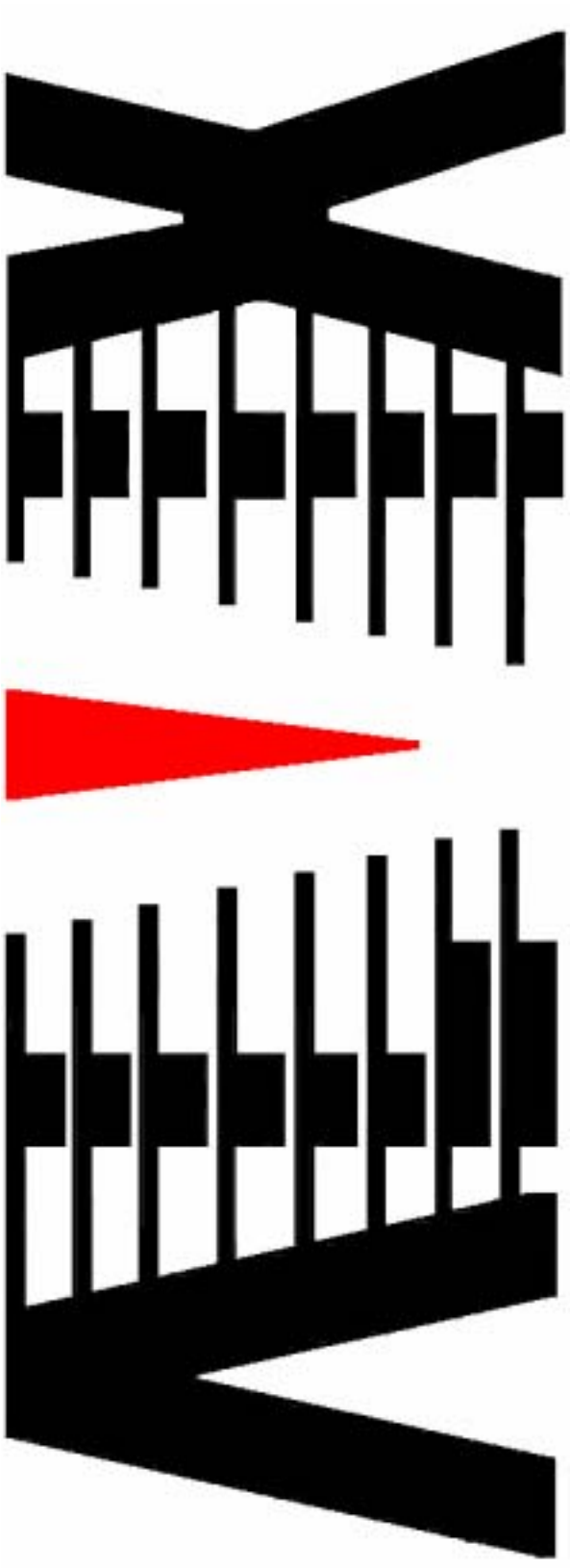
“アルビクス”ビデオマトリックススイッチャー
ALVIX　VIDEO　MATRIX　SWITCHER
＜ＦＭＸ－１２１２＞

取扱説明書

Ver．No．2.0



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して

安全の為の指示に従って下さい。もし不明点が有れば

販売店か弊社におたずね下さい。

付属品

取扱説明書	・・・　１
RS-232C　通信手順マニュアル	・・・　１
AC コード（3 メートル）	・・・　１
本体取付金具（EIA ラック取付用）	・・・　１組
（ビス M4×6）	・・・　６個
保証書	・・・　１

目次

・注意事項　・・・　２ページ

・仕様　・・・　３ページ

・特長　・・・　４ページ

・前面パネルの説明　・・・　５～６ページ

・後面パネルの説明　・・・　７～８ページ

・操作方法

（１）入出力（クロスポイント）の設定　・・・　９～１１ページ

（２）記憶（メモリ）の設定　・・・　１２ページ

・外部制御　・・・　１３ページ

・リモート装置（オプション）　・・・　１４ページ

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く、
埃の多い所、強い磁力のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、
激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所。
（故障の原因となります。）

仕様

モデル　　FMX－1212

映像入力	信号方式	NTSC・PAL・SECAM
	信号入力数	12
	信号形式	コンポジット信号
	入力レベル	1Vp－p　75Ω
	入力接栓	BNC コネクタ
映像出力	信号出力数	12
	信号形式	コンポジット信号
	出力レベル	1Vp－p　75Ω
	出力接栓	BNC コネクタ
映像信号特性	映像信号周波数特性	60Hz～10MHz
	映像クロストーク	48dB（3.58MHz）以上
	微分利得（DG）	0.5%以下
	微分位相（DP）	0.5°以下
音声入出力	信号入力数	R，L 各 12
	入力レベル	－10dB ハイインピーダンス
	入力接栓	RCA ピンジャック
	信号出力数	R，L 各 12
	出力レベル	－10dB ローインピーダンス
	出力接栓	RCA ピンジャック
音声周波数	周波数特性	10Hz～50KHz
	音声クロストーク	70dB 以上
	音声歪率	0.007%以上
	音声 S/N 比	80dB 以上
電源	使用電源	AC100V　50/60Hz
	消費電力	43W
	入力接栓	3P インレット
外形寸法		W425×H222×D435（mm）
重量		18.5kg

※仕様、外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

概要

FMX－1212 マトリックススイッチャーは映像信号をマトリックス回路で、ステレオ音声を R､L 各 12 出力のマルチプレクサー回路で構成した AV システムの自由な組合せを可能にしたスイッチャーです。

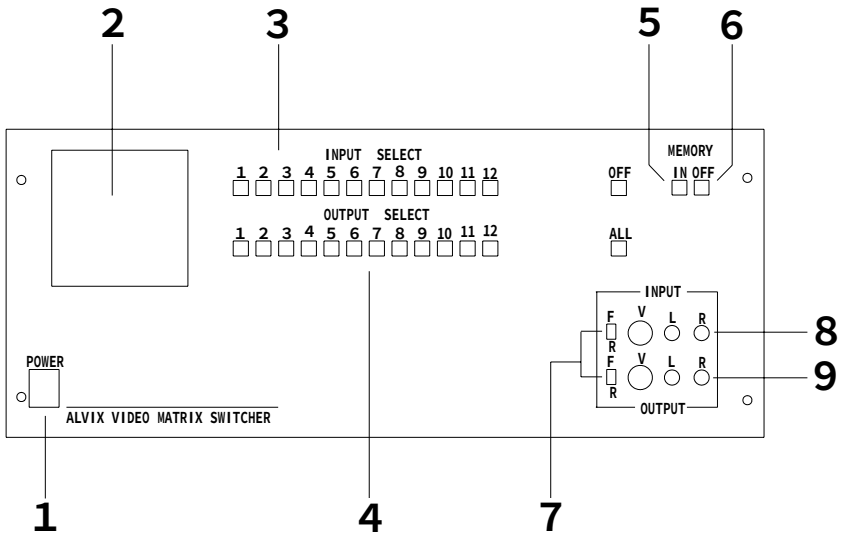
用途

店舗 AV システム、企業、CATV などの編集システム、
学校、ホールなどの視聴覚システム

特長

1．LED によるマトリックスディスプレイを採用したことにより、動作状況が
一目瞭然です。
2．B.B 信号入出力端子付ですので、同期のとれた画面を切り換える際、画像の
乱れをなくすことができます。
3．シリアル（RS－232C）及びパラレルコネクタ（セントロニクス準拠）を装備して
いますので、外部からコンピュータ等による制御が可能です。
4．前面パネルに１系統ずつ予備の入出力端子を設けてありますので、信号機等の
接続が簡単にできます。
（この端子を使用した場合、リアパネルの入出力端子１は使えなくなります。）
5．EIA ラックにマウントできます。
（EIA19 インチラックマウント５枚幅とコンパクト）
6．前面操作部が分離できます。離れたところよりワイヤードリモコンで入出力の
切替が可能で、自由なレイアウトの設定ができます。
7．系統メモリー機能により、12 入力 12 出力のクロスポイントの状態を 16 通りまで
メモリーすることができます。
（コンピュータでの制御時は 50 通りまでメモリー可能です。）

前面パネルの説明



１．電源スイッチ＜POWER＞
　電源コードをコンセントにさし、このスイッチを上側にすることにより、
　電源スイッチ（赤のランプ）が点灯し、電源が入ります。

２．表示パネル
　現在のスイッチャーのクロスポイント（INPUT，OUTPUT の接点）を、LED に
　より（赤ランプ）表示されます。

３．インプットセレクト（INPUT　SELECT）／メモリーセレクトスイッチ
　映像・音声信号の入力を選択するスイッチです。（No.１～12，OFF）
　スイッチ No.１～12 はメモリーナンバー（No.１～12）を選択する
　スイッチでもあります。

４．アウトプットセレクト（OUTPUT　SELECT）／メモリーセレクトスイッチ
　映像・音声信号の出力を選択するスイッチです。（No.１～12，ALL）
　スイッチ No.１～12 はメモリーナンバー（No.13～24）を選択する
　スイッチでもあります。

５．メモリーイン（MEMORY　IN）スイッチ
２．（表示パネル）で表示されている内容を記憶（メモリ）するスイッチです。

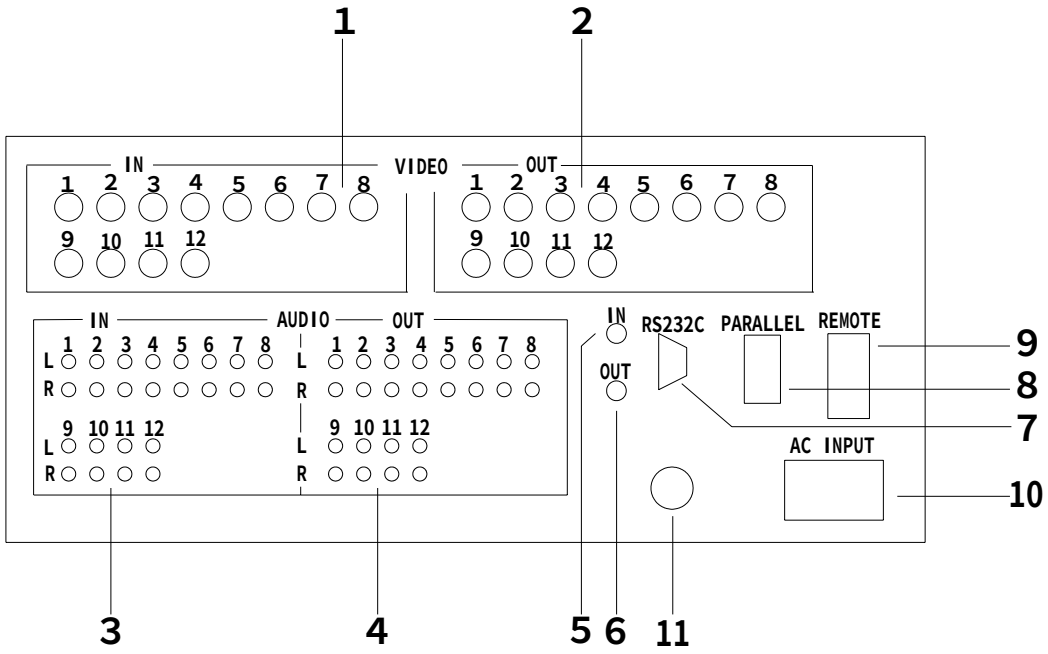
６．メモリーアウト（MEMORY　OUT）スイッチ
６．（メモリーイン）で記憶した内容を読み出し、２．（表示パネル）に
表示（入力の設定）するスイッチです。

７．コネクタセレクトスイッチ
前面パネルのコネクタと後面パネルのコネクタを選択するスイッチです。
F（フロント）は、前面パネルのコネクタを使用する場合です。
R（リア）は、後面パネルのコネクタを使用する場合です。

８．インプット前面コネクタ
前面パネルを使用する場合の入力コネクタです。
V（映像信号入力コネクタ）
L（音声信号（左）入力コネクタ）
R（音声信号（右）入力コネクタ）

９．アウトプット前面コネクタ
前面パネルを使用する場合の出力コネクタです。
V（映像信号出力コネクタ）
L（音声信号（左）出力コネクタ）
R（音声信号（右）出力コネクタ）

後面パネルの説明



１．映像入力（VIDEO　IN）コネクタ

２．映像出力（VIDEO　OUT）コネクタ

３．音声入力（AUDIO　IN）コネクタ

４．音声出力（AUDIO　OUT）コネクタ

５．ブラックバースト入力（B.B　IN）コネクタ
FMX－1212 をブランキングスイッチャーとして使用する場合、B.B（SYNC でも可）
信号を接続します。この時、映像入出力もこの信号にゲンロックにしている
必要があります。

６．ブラックバースト出力（B.B　OUT）コネクタ
５．のブリッジ（B.B　IN とつながっている）です。
通常は 75Ωで終端として下さい。

７．RS－232C　コネクタ　（9 ピンメス）

コンピュータ等による自動制御を行う場合のコネクタです。
（添付のインターフェース仕様書を参照して下さい）

８．パラレル（PARALLEL）コネクタ　（14 ピン　アンフェノール）

コンピュータ等による自動制御を行う場合のコネクタです。
（仕様はインターフェース仕様書に準じますが FMX－1212 からの返り値はありません。）

９．リモート（REMOTE）コネクタ　（リモート操作部はオプションとなります。）
（24 ピン　アンフェノール）

FMX－1212 の操作部を本体から分離して遠隔から制御する場合のコネクタです。

１０．電源コネクタ

AC100V　50／60Hz に接続します。

１１．ヒューズ

250V　3A を使用

操作方法

（１）入出力（クロスポイント）の設定

・INPUT　SELECT（入力選択）には、１～12 と OFF（無信号）のスイッチがあります。
・OUTPUT　SELECT（出力選択）には、１～12 と ALL（出力全部に同じ信号を出力する）のスイッチがあります。
・クロスポイントの設定は、任意の INPUT 番号を押した後（スイッチは赤点灯）
任意の OUTPUT 番号を押します。（スイッチは赤点灯）
（操作はこの繰り返しです。）

表示パネルには、設定されたクロスポイントの位置が赤点灯しますので
確認して下さい。

――例――

以降　INPUT は IN と表記します
以降　OUTPUT は OUT と表記します。

―１―

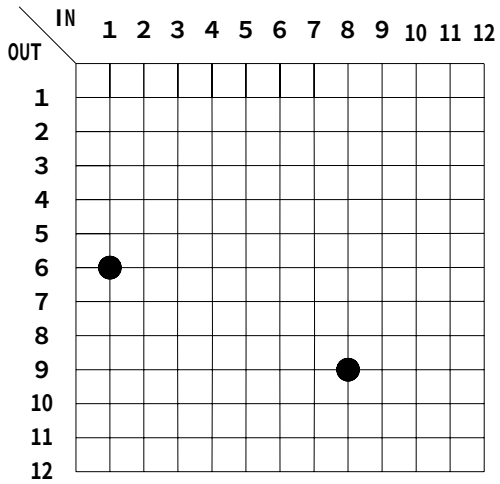
・IN１の信号に OUT６に出力、IN８の信号を OUT９に出力する場合は、次の様に操作します。

１．IN１を押します

２．OUT６を押します

３．IN８を押します

４．OUT９を押します



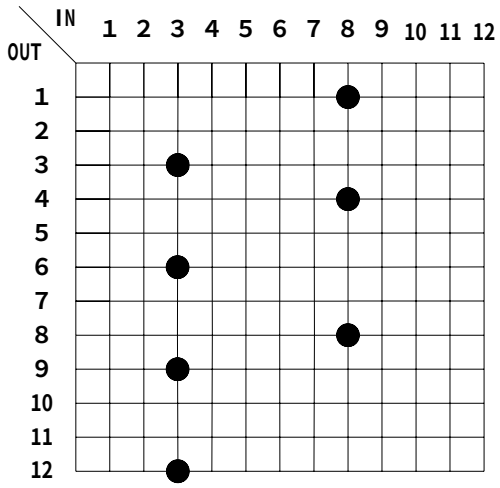
以上で操作終了です。
表示パネルは、右図の様になります。

－２－

・IN３の信号を OUT３，６，９，12 に出力、IN８の信号を１，４，８に出力する場合は、

次の様に操作します。

１．　IN３を押します。
２．　OUT３を押します。
３．　IN３を押します。
４．　OUT６を押します。
５．　IN３を押します。
６．　OUT９を押します。
７．　IN３を押します。
８．　OUT12 を押します。
９．　IN８を押します。
１０．OUT１を押します。
１１．IN８を押します。
１２．OUT４を押します。
１３．IN８を押します。
１４．OUT８を押します。



以上で操作終了です。
表示パネルは、右図の様になります。

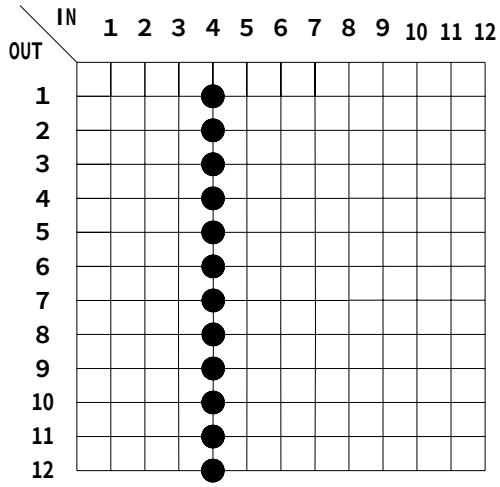
－3－

・IN４の信号を OUT１～12 の全てに出力させる場合は、次の様に操作します。

１．IN４を押します。

２．OUT ALL を押します。

以上の操作で、右図の様になります。



－4－

・全ての設定を解除（無信号状態に）する場合は、次の様に操作します。

１．OFF を押します。
２．ALL を押します。

以上で操作終了です。

・任意の番号を解除（無信号状態に）する場合は、次の様に操作します。

１．OFF を押します。
２．任意の番号（OUTPUT）を押します。

以上で操作終了です。

（２）記憶（メモリ）操作

・FMX－1212 では、電源 OFF 直前の入出力の設定をメモリに保持しています。その為、
　電源を入れると直前のデータ（入出力設定）がセットされます。
・FMX－1212 では、パネル操作でメモリ番号１～24 までに各々のパターンを記憶させておくことができます。
　（RS－232C 及びパラレル制御の場合は１～50 まで記憶させることができます。）

メモリー番号１～12 は、INPUT　SELECT スイッチの１～12 が割付けてあります。
メモリー番号 13～24 は、OUTPUT　SELECT スイッチの１～12 が割付けてあります。

＊メモリーの保持は、電源を入れない状態でも、約１ヵ月間保持されています。

―記憶させる―

メモリ番号 10 番に例２で設定した入出力パターンを記憶させたい場合、
次の様に操作します。

１．入出力の設定をします。（10 ページの例２参照）
２．MEMORY　IN スイッチを押します。
３．INPUT　SELECT スイッチの 10 番を押します。（赤点灯します。）

以上で操作の終了です。

―読み出す―

メモリ番号 10 番に記憶したパターンを読み出す場合は次の様に操作します。

１．MEMORY　OUT スイッチを押します。
２．INPUT　SELECT スイッチの 10 番を押します。（赤点灯します。）

以上で操作の終了です

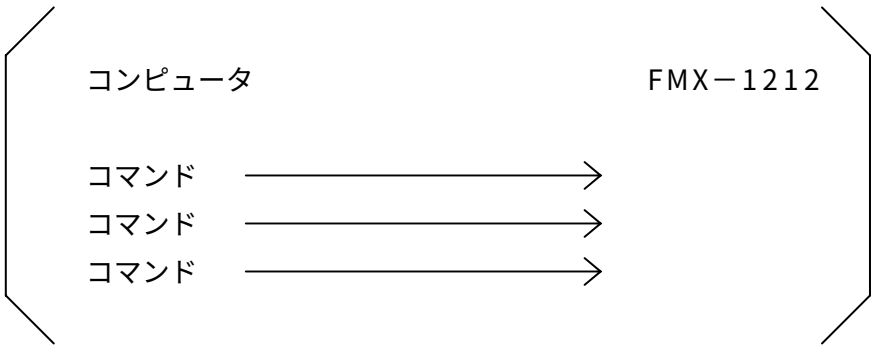
外部制御

RS-232C　制御

・通信手順、制御コマンドは、添付インターフェース仕様書を参照して下さい。

パラレル制御

・制御コマンドは、添付インターフェース仕様書を参照して下さい。
　但し、パラレル制御の場合は、コマンドの一方通行となります。



パラレル制御時の ＡＣＫ，ＮＡＫ，文字データの
返送はありません。

リモート装置（オプション）

遠隔（30m）より、FMX－1212 を操作できるよう操作部を本体から分離した遠隔パネルを
オプションとして提供します。
（操作は本体操作と同じです。）

オプションとして提供するもの

・遠隔操作パネル	１ヶ
・接続ケーブル	30m
・本体盲カバー	１ヶ
・操作マニュアル	１ヶ

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でも御連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ：
担　当：

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８